

# 郷 俣

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

☆ 創作の軌跡 10 ☆

作品を読んでもみると、いろいろな感性が伝わってきます。創作活動を大事な須木中の宝としたいですね。

学園詩壇



鳥  
田尻 波瑠佳

緑濃くなる木  
枝をゆらす小鳥  
教室にさえずりが  
こだまする

青く澄わたる空  
大きなつばさ  
大きな影  
芝生のうえに  
落としていく

灰色の雲  
ひさしの下  
空を見つめて  
羽を寄せ合う

自然の中で  
生きている  
自然と共に  
生きている

自然  
久保田 竜矢

僕は空を見て考えた  
なぜあんなに広いんだ  
先を見ても終わりが無い  
自由でとても気持ちいい

僕は山を見て考えた  
なぜあんなに高いのか  
登っていったら  
かなり疲れる  
どっしりしてて力強い

僕は海を見て考えた  
なぜあんなに冷たいのか  
夜になるほど泳げない  
つかれば頭が冷静になる

考えればいいところ  
悪いところ見えてくる  
自然はおもしろい



秋がやってきた  
中間 大洋

肌寒い風がふいてくる  
夏がさびしく終わっていく  
風が秋を連れてくる

ふいに山を見てみると  
山に色とりどりの  
花火が上がっている  
緑に黄色に茶色  
山に秋がやってきた

通学路にある柿の木と栗の木  
少しずつ実を大きくし  
秋の味覚が変わっていく  
ほくほく温かい  
秋の味

夏に終わりを告げ  
一步一步秋に近づく  
秋は楽しみがたくさんだ  
楽しむぞ秋を



学園歌壇



手の平にぽつりと落ちた一粒の 涙とともに取る優勝旗

平野 萌香

さんまがね脂がのっておいしいな おいしいところとりあっこだ

栗原 力

